

第137期京都中央労働学校 募集要項

申し込みの手続きは「申込用紙」に必要事項を記入し、受講料をそえて申し込んでください。

募集の定員は、各コース60名です。(定員になり次第×切ります)

講義時間は、午後7時～9時10分(休憩も含まます)

総合コースは、18回講義のうち12回以上出席し受講料を納入された方に修了証書をお渡しします。

それ以外のコースは、9回講義のうち6回出席で修了証書をお渡しします。

テキストは、総合コースはレジュメを準備しております。世界観コースは、『フォイエルバッハ論』(新日本出版社)、経済学コースは、マルクス著『資本論』(新日本新書)第4分冊を使います。注文の方は、申込用紙に記入を。

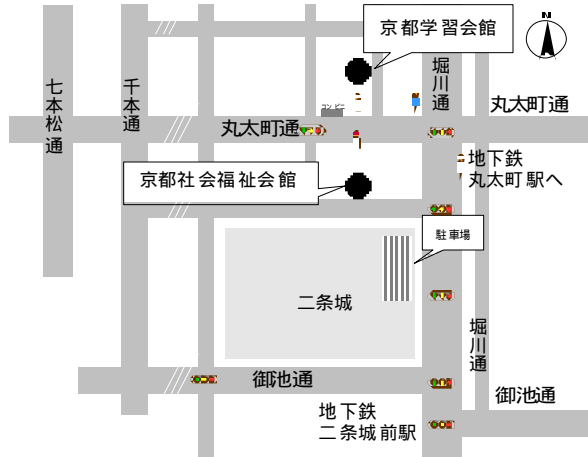
受講料は、総合コースは、10,000円、それ以外は、8,400円です。

金額に消費税が含まれています。

各コースの会場は、『京都学習会館』(上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。

電話(075)841-8141

FAX(075)821-3665



二・四輪共に駐車場はありません。
二条城市営駐車場へお願いします。
地下鉄丸太町駅・二条城前駅から
『京都学習会館』まで歩いて10分
以内です。

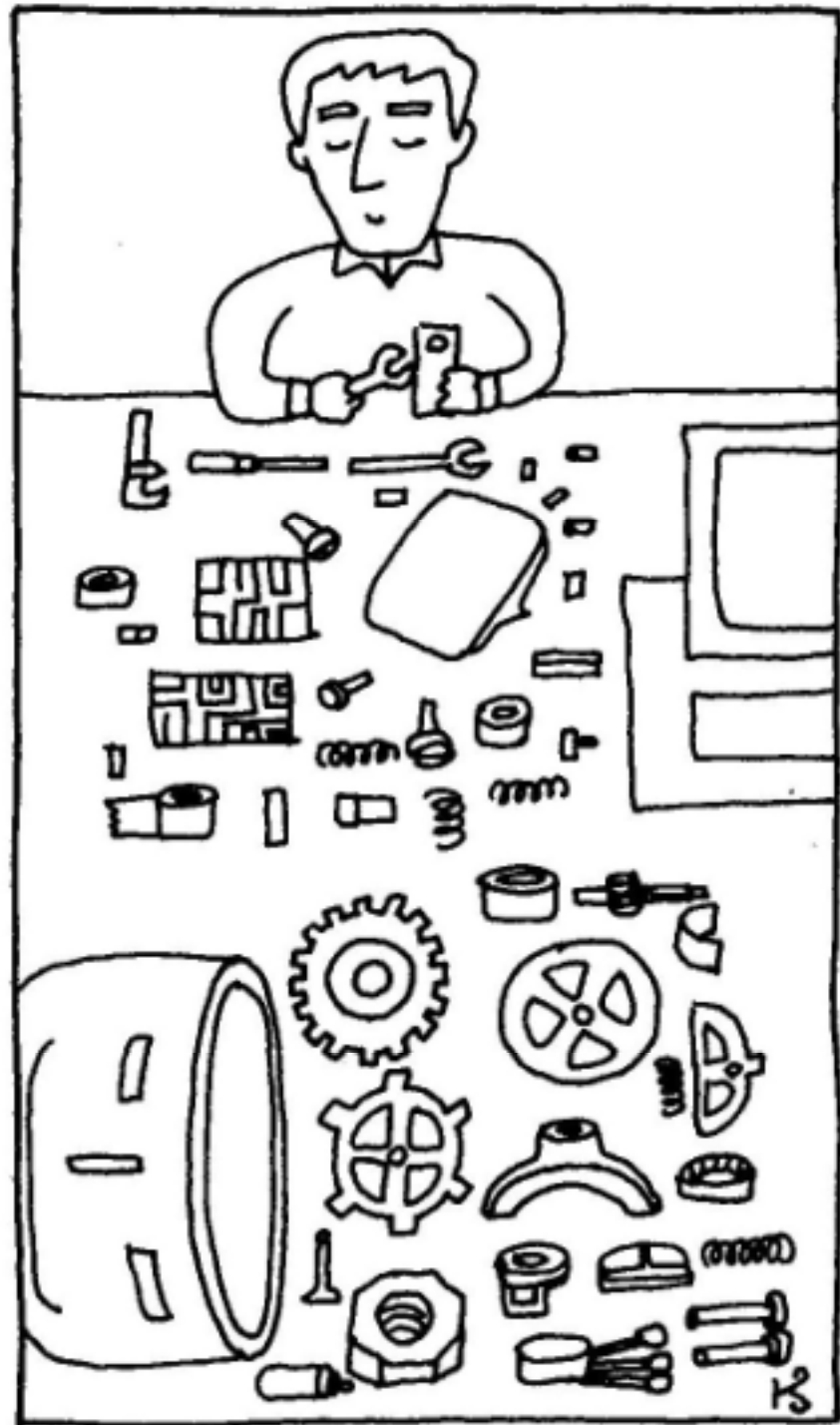
キリトリ

第137期京都中央労働学校 申込用紙			
申込みコースチェック 総合 世界観 経済学			
ふりがな	性別	年齢	
氏名:	男・女	才	
現住所			
職場・学園			
労働組合 (全国単産)			
電話: 職場 () - 自宅 () -			

『フォイエルバッハ論』の注文 注文する。

『資本論』の注文(必要な分冊に) 第1分冊 第2分冊 第3分冊 第4分冊 を注文します。

取人問らしたを
取り戻さしたを



科学的社会主义を学ぶ労働者の学校
京都中央労働学校 137期生募集中
申込先は
京都労働者学習協議会
電話 841-8141 FAX 821-3665

京都中央労働学校は、科学的社会主義を学ぶ学校です。総合コースは、労働学校のメインコースです。私たちの住んでいる日本社会は“資本主義社会”ですが、その仕組みをまず学びます。その社会で生産・流通を支えているのが労働者であり私たちです。その素晴らしさをまなびます。日本国の主人公は国民だと憲法に定められています。しかし主人公がひどい貧困と格差の中にあります。なぜでしょう。沖縄の基地の問題でも県民の意志は県外・国外移転です。それが無いがしろにされようとしています。だれが、この日本を支配しているのでしょうか。それを明らかにし、打開の方向を学びます。そこに止まらず、世界的視野から世界と日本の未来について学びます。総合コースでは、“知のESSENCE”と題して5回にわたって私たちが“ものごと”を見たり考えたりするために必要な、それを学ぶことによって“知的な人生”を切り開く知の鍵ともいえる“知のESSENCE”を獲得します。などなど、私たちの身近な問題を素材にして科学的社会主義を学ぶのが京都中央労働学校の“総合コース”です。

科学的社会主義の
総合コース

◎働くものの未来を学ぶ

10/23 (土) 開校オリエンテーション

10/26 (火) 第01課 マルクスは何を発見し変革したか

10/29 (金) 第02課 資本主義はどんな特徴をもっているのか

11/02 (火) 第03課 “搾取” そのしくみと強める方法

11/05 (金) 第04課 「訓練され、結合され、組織され」る労働者

11/09 (火) 第05課 資本主義の“推進力”とその“矛盾”

11/12 (金) 第06課 君の生きてきた時代

11/16 (火) 第07課 *知のESSENCE 人間とは

11/19 (金) 第08課 大企業・財界はどのように日本を支配しているか

11/23 (火) 第09課 *知のESSENCE 真理とは

11/26 (金) 第10課 日米安保条約は、日本に苦難をおしつける“諸悪の根源”

11/30 (火) 第11課 *知のESSENCE 科学とヒューマンズム

12/03 (金) 第12課 日本の画期をなす“ものすごい闘い”の歴史

12/07 (火) 第13課 *知のESSENCE 個性は何によって輝くか

12/10 (金) 第14課 労働組合の“出番”とはどういうことか

12/14 (火) 第15課 *知のESSENCE マルクスの“歴史観”を学ぶ

12/17 (金) 第16課 「資本主義の限界」 利潤第一主義は何をもたらしているか

12/21 (火) 第17課 世界で“変革”の実践がすすんでいる

12/24 (金) 第18課 人類の未来社会“社会主義・共産主義”とは

世界観コース
第2部 エンゲルス著「フォイエルバッハ論」から学ぶ

講師は.....
鯨坂 真・関西大学名誉教授

マルクス・エンゲルスの“世界観”を学ぶ

10/29 (金) 第01課 18世紀のヨーロッパ マルクス・エンゲルスが!

11/05 (金) 第02課 弁証法とは何か ヘーゲル弁証法の革命的性格

11/12 (金) 第03課 哲学の根本問題 思考と存在の関係

11/19 (金) 第04課 18世紀の唯物論と現代唯物論

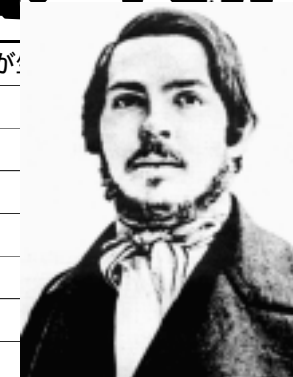
11/26 (金) 第05課 人間とはなにか、その本質

12/03 (金) 第06課 道徳・倫理とはなにか

12/10 (金) 第07課 世界をあらわれるままにとらえるために

12/17 (金) 第08課 社会と歴史の経済的基礎、発展の原動力とは

12/24 (金) 第09課 政治・法律・イデオロギー・等と経済的諸関係 現代社会の変革プロセス



経済学コース
第3部 大きくなっていく資本は何をもたらすか?

講師は.....
上瀧 真生・流通科学大教授

10/25 (月) 第1課 資本はどうやってもうけをふやすか?

11/01 (月) 第2課 賃金はどのように支払われるか?(1)

11/08 (月) 第3課 賃金はどのように支払われるか?(2)

11/15 (月) 第4課 補論 日本の賃金 / 復習会

11/22 (月) 第5課 生産をくりかえすと資本と働き手の関係はどうな

11/29 (月) 第6課 資本はどうやって大きくなるか?

12/06 (月) 第7課 資本が大きくなると働き手はどうなるか?

12/13 (月) 第8課 資本はどんな歴史をもっているのか?

12/16 (木) 演習

12/20 (月) 第9課 今日の資本主義と『資本論』

